

研究科等の新たな評価に関する論点整理（案）

資料6
中央教育審議会大学分科会
大学院部会（第123回）
R8. 2. 19

質保証 の観点

博士課程・修士課程の修了に関しては、**学位により質保証**がされているため、以下のような**基本的な観点のチェックのみ**にとどめる。

【基本的な観点の例】

- 適切な学位審査基準の設定
- 複数名での論文審査
- 適切な公開審査の実施
- 適切な最終承認プロセスの設定
- 公表事項（学位論文等）の確実な公表
- など

各大学院が修了者に備えさせるべき能力

専門性に加え、

- ・最先端の知にアクセスする能力
- ・自ら課題を発見し設定する力
- ・自ら仮説を構築し、検証する力
- ・社会的・経済的価値を判断・創出する能力
- ・倫理観
- ・マネジメント能力
- ・高度な英語力を含むグローバル化に対応した優れたコミュニケーション能力
- など

これらを備えさせるには

質向上 の観点

今後は、以下のような取り組みが重要であることから、これらの取り組みを進め、かつ、**学生の満足度が高く**、また、研究を含め、**社会において活躍している人材の輩出ができる**り、**教育改善に関する内部質保証が確実に機能している**ところを高く評価する。

【重要な取り組みの例】

- 学生が海外経験を積めるようになっている
- 優秀な外国人留学生を受け入れている
- 企業・研究所等でのインターンシップ等学外での様々な経験を積めるようになっている
- 研究機関・企業等からの教員の受け入れを行っている
- コースワークが充実している
- メンターによるキャリアサポートが充実している
- 学生の修了後の状況を把握している
- など